Press Release　東洋学園大学

報道関係者各位　2026 年 11 月 19 日

本部：東京都文京区本郷 1-26-3　理事長：愛知太郎

学校法人東洋学園創立 100 周年記念式典で公表
大学改革構想「TOGAKU IMPACT 2030」
「東京全体をキャンパスに」 入学者数は 2 年で約 1.5 倍に回復

東洋学園大学（学校法人東洋学園　本部：文京区本郷　理事長：愛知太郎）は、2026 年 11 月 1 日（日）に開催した学校法人東洋学園の創立 100 周年記念式典で、2030 年に向けて進める大学改革の基本構想「TOGAKU IMPACT 2030」を、対外的に初めて発表しました。構想が目指すのは「学生一人ひとりが、自分の可能性とフィールドを見つけ、自信を持って社会へ歩み出せる大学」です。2024 年 1 月に学内へ示して以来、教育と組織の改革を進めてきました。

学生一人ひとりの成長が見える大学へ



記念式典での発表の様子

■「東京にある大学」から「東京で学ぶことに意味がある大学」へ

18 歳人口は 2030 年頃から本格的な減少局面に入ると予測されています。本学でも 2024 年度の入学者は当時の入学定員の約 7 割にとどまりました。この状況で本学が立てた問いは、定員をどう埋めるかではなく「これからの社会で、大学はどのような価値を提供できるのか」でした。出発点としたのは、企業、行政、文化、メディア、NGO、世界から集まる人々がそろう東京・本郷の立地と、学生の成長を支えてきた教育という、すでに持っている強みです。

■改革の 3 つの柱

- **グローバル東京　TOGAKU PBL**：東京全体をキャンパスに、学生が現場に出て人や組織と出会い、正解のない課題に向き合う課題解決型学習（PBL）。2024 年 9 月には成果発表の場「TOGAKU SHOWCASE」を学内に開設しました。
- **学部改革**：各学部で何を学び、どのような力が身につくのかを明確にする、教育内容・コース・組織の見直し。
- **教養デザイン学際カレッジ**：問いを立てる、調べる、対話する、表現するといった、4 年間の学びの土台をつくる初年次教育。2025 年度に開始しました。

■3 学部の改革内容

学部	改革の内容	コンセプト
グローバル・コミュニケーション学部	2027 年 4 月、国際共創学部 現代コミュニケーション学科へ改組	違いを超えて、人をつなぎ、共に創る力を。
人間科学部	学部構成を維持し、教育内容を刷新（3 コース）	人を支える人となる。
現代経営学部	学部名を維持し、5 コースへ再編	ビジネスをチカラに。未来力アップ。

改革の進展とともに、入学者数は 2024 年度から 2026 年度にかけて約 1.5 倍に回復し、全学部で入学定員を充足しました。国際共創学部の詳細は、別途お知らせします。

■2030 年に向けて

今後は、初年次教育、各学部の専門教育、東京を舞台とする PBL、キャリア教育・就職、卒業後の活躍までを一本の線でつなぎます。学生自身が「入学時と比べて何ができるようになったのか」を語れる教育をつくり、その成果を社会に示していきます。

■東洋学園大学 学長 辻中豊 コメント

「この 2 年半で、改革を立ち上げる段階はおおむね達成しました。これからは、個々の改革を一つの教育体系として結び付ける段階です。目的は制度や組織を変えることではなく、学生一人ひとりの成長が見える教育を実現することです。社会がどのように変化しようとも、東洋学園大学は学びの価値を問い続けます。」

構想の全文はこちらから。

TOGAKU IMPACT 2030（大学公式サイト）（https://www.tyg.jp/guide/togaku_impact_2030.html）

＊本リリースに関するお問い合わせ、取材のお申し込み先＊
東洋学園大学 広報室 （担当：清水）
電話 03-3811-1783 FAX 03-3811-1964 e-mail:koho@of.tyg.jp https://www.tyg.jp/